

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
1-1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	100%	0%	0%
1-1-1-2	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	100%	0%	0%
1-1-1-3	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	100%	0%	0%
1-1-1-4	重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	100%	0%	0%
1-1-2-1	経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	100%	0%	0%
1-1-2-2	経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	100%	0%	0%
1-1-3-1	重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	100%	0%	0%
1-1-3-2	重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	99%	1%	0%
1-1-3-3	利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	100%	0%	0%
2-1-1-1	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	100%	0%	0%
2-1-1-2	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	100%	0%	0%
2-2-1-1	事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	95%	5%	0%
2-2-1-2	地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	81%	19%	0%
2-1-2-1	第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	99%	1%	0%
2-1-2-2	透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	98%	2%	0%
2-2-2-1	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	94%	6%	0%
2-2-2-2	ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	92%	8%	0%
2-2-2-3	ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	85%	15%	0%
2-2-3-1	地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	99%	1%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
2-2-3-2	地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	98%	2%	0%
3-1-1-1	苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	100%	0%	0%
3-1-1-2	利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	100%	0%	0%
3-1-2-1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	100%	0%	0%
3-1-2-2	事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	99%	1%	0%
3-1-2-3	利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	100%	0%	0%
3-1-3-1	地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	100%	0%	0%
3-1-3-2	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	100%	0%	0%
3-1-3-3	事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	95%	5%	0%
4-1-1-1	理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	81%	19%	0%
4-1-1-2	年度単位の計画を策定している	97%	3%	0%
4-1-1-3	短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	100%	0%	0%
4-2-1-1	利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	100%	0%	0%
4-2-1-2	事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	100%	0%	0%
4-2-1-3	事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	97%	3%	0%
4-2-1-4	事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	100%	0%	0%
4-1-2-1	課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	100%	0%	0%
4-1-2-2	課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	99%	1%	0%
4-1-2-3	計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	100%	0%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
4-1-2-4	計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	100%	0%	0%
4-1-3-1	計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	100%	0%	0%
4-1-3-2	計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	100%	0%	0%
4-1-3-3	計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	95%	5%	0%
4-1-3-4	計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	97%	3%	0%
5-1-1-1	事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	99%	1%	0%
5-1-1-2	事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	100%	0%	0%
5-1-1-3	適材適所の人員配置に取り組んでいる	100%	0%	0%
5-2-1-1	職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	99%	1%	0%
5-2-1-2	職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	100%	0%	0%
5-2-1-3	職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	100%	0%	0%
5-1-2-1	職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	100%	0%	0%
5-1-2-2	事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	87%	13%	0%
5-1-2-3	個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	87%	13%	0%
5-1-2-4	職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	88%	12%	0%
5-1-2-5	職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	100%	0%	0%
5-2-2-1	事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	93%	7%	0%
5-2-2-2	就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	100%	0%	0%
5-2-2-3	職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	100%	0%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
5-2-2-4	福利厚生制度の充実に取り組んでいる	99%	1%	0%
6-1-1-1	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	100%	0%	0%
6-1-1-2	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	100%	0%	0%
6-1-1-3	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	100%	0%	0%
6-1-1-4	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	100%	0%	0%
6-1-1-5	事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている	100%	0%	0%
6-2-1-1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	100%	0%	0%
6-2-1-2	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	100%	0%	0%
6-2-1-3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	100%	0%	0%
6-3-1-1	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	100%	0%	0%
6-3-1-2	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	100%	0%	0%
6-3-1-3	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	100%	0%	0%
6-4-1-1	子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している	100%	0%	0%
6-4-1-2	子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している	99%	1%	0%
6-4-1-3	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している	100%	0%	0%
6-4-1-4	特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	100%	0%	0%
6-4-1-5	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	100%	0%	0%
6-5-1-1	子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	100%	0%	0%
6-5-1-2	子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	100%	0%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
6-6-1-1	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	100%	0%	0%
6-6-1-2	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	99%	1%	0%
6-6-1-3	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	98%	2%	0%
6-2-2-1	サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	100%	0%	0%
6-2-2-2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	100%	0%	0%
6-2-2-3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	98%	2%	0%
6-3-2-1	計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	100%	0%	0%
6-3-2-2	計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	100%	0%	0%
6-3-2-3	計画を保護者にわかりやすく説明している	98%	2%	0%
6-3-2-4	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	100%	0%	0%
6-3-2-5	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	100%	0%	0%
6-4-2-1	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	100%	0%	0%
6-4-2-2	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	100%	0%	0%
6-4-2-3	休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	100%	0%	0%
6-4-2-4	お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	100%	0%	0%
6-5-2-1	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	100%	0%	0%
6-5-2-2	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	100%	0%	0%
6-5-2-3	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	98%	2%	0%
6-5-2-4	子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	99%	1%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
6-5-2-5	虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	100%	0%	0%
6-6-2-1	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	97%	3%	0%
6-6-2-2	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	100%	0%	0%
6-6-2-3	職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	100%	0%	0%
6-3-3-1	子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	100%	0%	0%
6-3-3-2	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	100%	0%	0%
6-4-3-1	日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	100%	0%	0%
6-4-3-2	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	100%	0%	0%
6-4-3-3	子どもがのびのびと体を動かせるよう、積極的に戸外活動や外気浴等を実施している	100%	0%	0%
6-4-3-4	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	100%	0%	0%
6-4-3-5	【0・1・2歳児のみ受け入れている保育所で、取り組みのない場合は非該当とする】子どもが集団活動を経験する機会(他の保育所の子どもとの交流など)を積極的に設けている	88%	3%	9%
6-6-3-1	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	100%	0%	0%
6-6-3-2	職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	100%	0%	0%
6-6-3-3	職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	100%	0%	0%
6-6-3-4	職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	100%	0%	0%
6-6-3-5	職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	100%	0%	0%
6-3-4-1	計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	100%	0%	0%
6-3-4-2	子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	100%	0%	0%
6-4-4-1	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	100%	0%	0%

平成27年度 標準項目チェック状況
 認証保育所(A・B型)

標準項目	標準項目名称	あり	なし	非該当
6-4-4-2	子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	100%	0%	0%
6-4-4-3	行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	100%	0%	0%
6-4-4-4	保育所の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	98%	2%	0%
6-4-5-1	保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	100%	0%	0%
6-4-5-2	子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	100%	0%	0%
6-4-5-3	お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	100%	0%	0%
6-4-6-1	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	100%	0%	0%
6-4-6-2	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	100%	0%	0%
6-4-6-3	子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	100%	0%	0%
6-4-6-4	食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	100%	0%	0%
6-4-6-5	保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	100%	0%	0%
6-4-7-1	けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	100%	0%	0%
6-4-7-2	医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	99%	1%	0%
6-4-7-3	保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	100%	0%	0%